

部活動地域展開の取組状況について

佐倉市教育委員会 指導課

1 部活動地域展開とは

主に以下の要因を背景として、国がこの取組を推し進めています。

生徒数の 減少

- こどもの減少により部活動の数が減り、こども達が「やりたい部活動」を選べなくなっています。（体験格差の拡大）
- 生徒数は約30年後には半分以下に減少する見込みのため、この体験格差は更に拡大。

教員による 指導の限界

- これまでは教員の献身的な勤務によって支えられてきたが、これが長時間労働の一因となっている現状。
- 競技経験がなくても指導をしなければならず、教員にとっては大きなプレッシャー、子どもにとっては専門的指導が受けられないミスマッチも発生。

学校単位での 活動の限界

- こどもの数が減り、教える教員にも負担が大きいことから、学校単位での部活動では、こども達の「やりたいスポーツ」「やりたい文化・芸術活動」を支えられなくなっています。

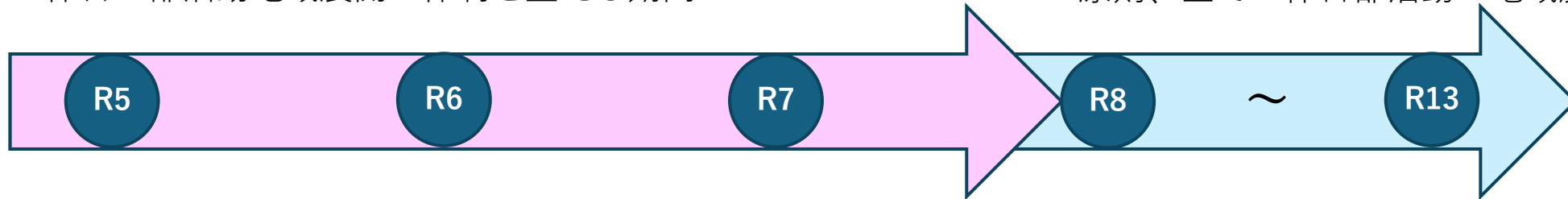
活動主体を「学校」から「地域」へ段階的に移し、将来にわたりこども達がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保する＝部活動地域展開の取組が必要

1 部活動地域展開とは

国の示すスケジュール

改革推進期間

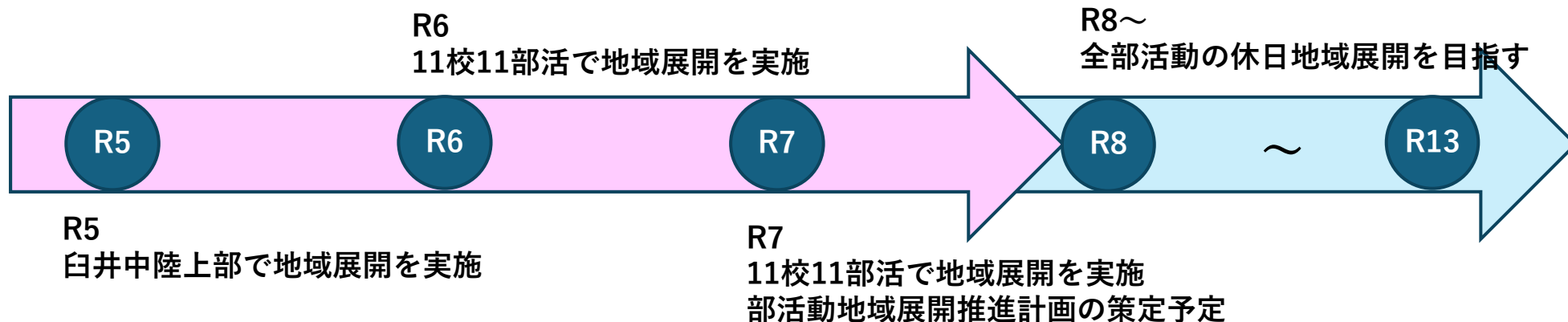
休日の部活動地域展開の体制を整える期間



改革実行期間

原則、全ての休日部活動の地域展開を完了させる

佐倉市の取組



1 部活動地域展開とは

従来の部活動と「地域クラブ活動」の違い

部活動

□ 学校の管理下で行われる活動

□ 主に学校の先生

□ 通学する学校にある種目しか選択できない

活動主体

指導者

生徒

から

地域クラブ活動

□ 学校管理下を離れた自由な活動

□ “競技の楽しさを教えたい”という熱意のある地域人材や先生など

□ 地区内に用意された“やりたい種目”を選択可能

2 佐倉市のこれまでの取組状況

佐倉市では、地域の関係者や行政職員で構成する『佐倉市部活動地域指導事業検討会』を設置し、部活動地域展開の進め方等について協議するとともに、一部の部活動で実証事業を行ってきました。

令和5年度

臼井中学校陸上競技部



令和6年度

各中学校1部活 合計11部活



令和7年度

各中学校1部活 合計11部活

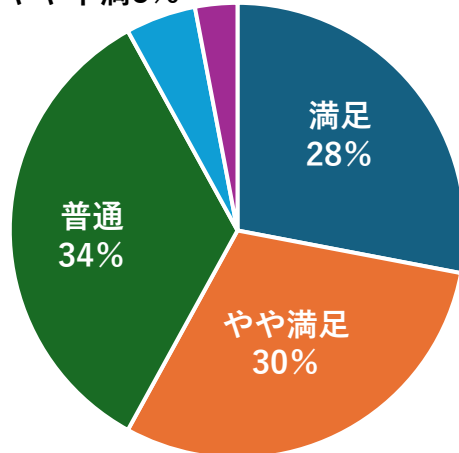


2 佐倉市のこれまでの取組状況

令和6年度実証事業に参加した生徒の保護者、指導を行った指導者へのアンケート結果抜粋（※生徒へのアンケートは保護者経由で実施）

①地域クラブへの参加満足度（保護者の回答） 179名のうち104名から回答

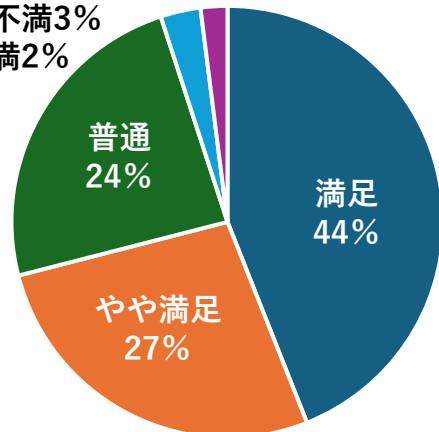
やや不満5% 不満3%



満足 やや満足	☐ 専門的な指導が受けられる ☐ 子供の技術や意欲が向上している ☐ 練習メニューが充実している
普通	☐ 活動が部活と変わらないのではと感じる
やや不満 不満	☐ 練習日数が少ない、活動時間が短い ☐ 平日の部活と土日の練習の差に不満を感じる

②地域クラブの指導員に対する満足度（保護者の回答） 179名のうち104名から回答

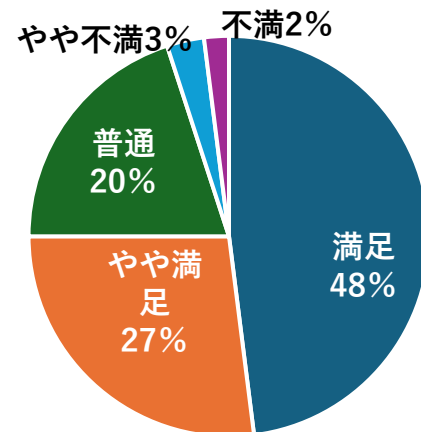
やや不満3%
不満2%



満足 やや満足	☐ 技術だけでなく、心構えも教育いただけている ☐ 専門的な考えでアドバイスしてくれている ☐ 怪我をした時に、しっかりと対処いただけた
普通	☐ 専門的な知識で接してもらい、ありがたい
やや不満 不満	☐ 試合の時にも来てもらいたい ☐ 休日のみなので、平日も指導してもらいたい

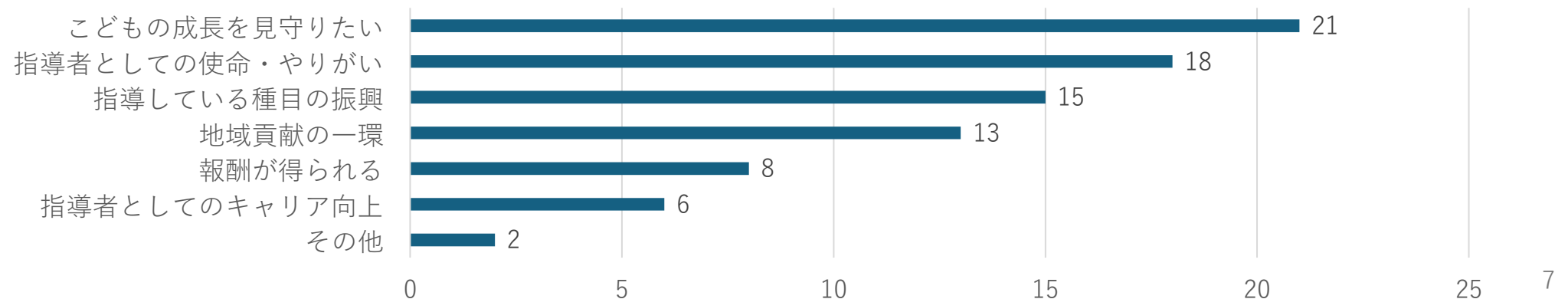
2 佐倉市のこれまでの取組状況

③参加した生徒の満足度（生徒の回答） 179名のうち104名から回答



満足 やや満足	☐ とても分かりやすく説明してくれて楽しく参加できる ☐ プロみたいな練習ができて楽しい ☐ コーチが親しみやすく、的確なアドバイスをもらえる
普通	☐ 地域クラブと平日が違い過ぎるので、難しい感じがする
やや不満 不満	☐ 週末の指導だけでは物足りない ☐ もう少し活動時間を増やしてほしい

④指導員として活動している理由（指導者の回答／複数選択可） 30名のうち25名から回答



2 佐倉市のこれまでの取組状況

実証実験の結果、指導を受けた生徒及びその保護者からは『満足』、『やや満足』という回答を多く得ることができ、本事業への理解は進んできたものと認識しています。

このことから、佐倉市では令和8年8月からこの取組を全部活動に拡大していく方向で、現在準備を進めています。



3 佐倉市の今後の方向性

令和8年8月から佐倉市の休日部活動は変わります

『みんなの“やりたい”を叶える』
(仮称) 休日地域クラブ SAKURA へ



生徒

やりたい部活が学校にないから、諦めるか、、、

→「地区」の中から活動を選ぶので“やりたい活動”に参加できます



教員

休日はプライベートなことに時間を使いたい、、、

→休日地域クラブの指導者は、地域の人材を活用するため、先生方の参加も任意です。先生の“過ごしたい”休日を叶えます。

こども達と活動の楽しさを共有したい！教えたい！

→指導者登録をすることで、意欲ある地域の方々の“教えたい”を叶えます。



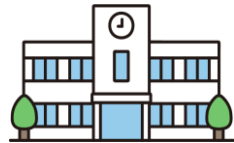
地域の方々

3 佐倉市の今後の方向性

何が変わるの？－その１－

学校区に縛られず、それぞれの“やりたい”種目を選んで参加できるようになります。
これまでの、こんな悩みの解消が期待されます。

(例)佐倉中学校



野球部、サッカー部、
バスケット部、バレー部、
卓球部、吹奏楽部

バドミントンをやってみたかったけど、学校に部活がないから他の部活で我慢するか、、、

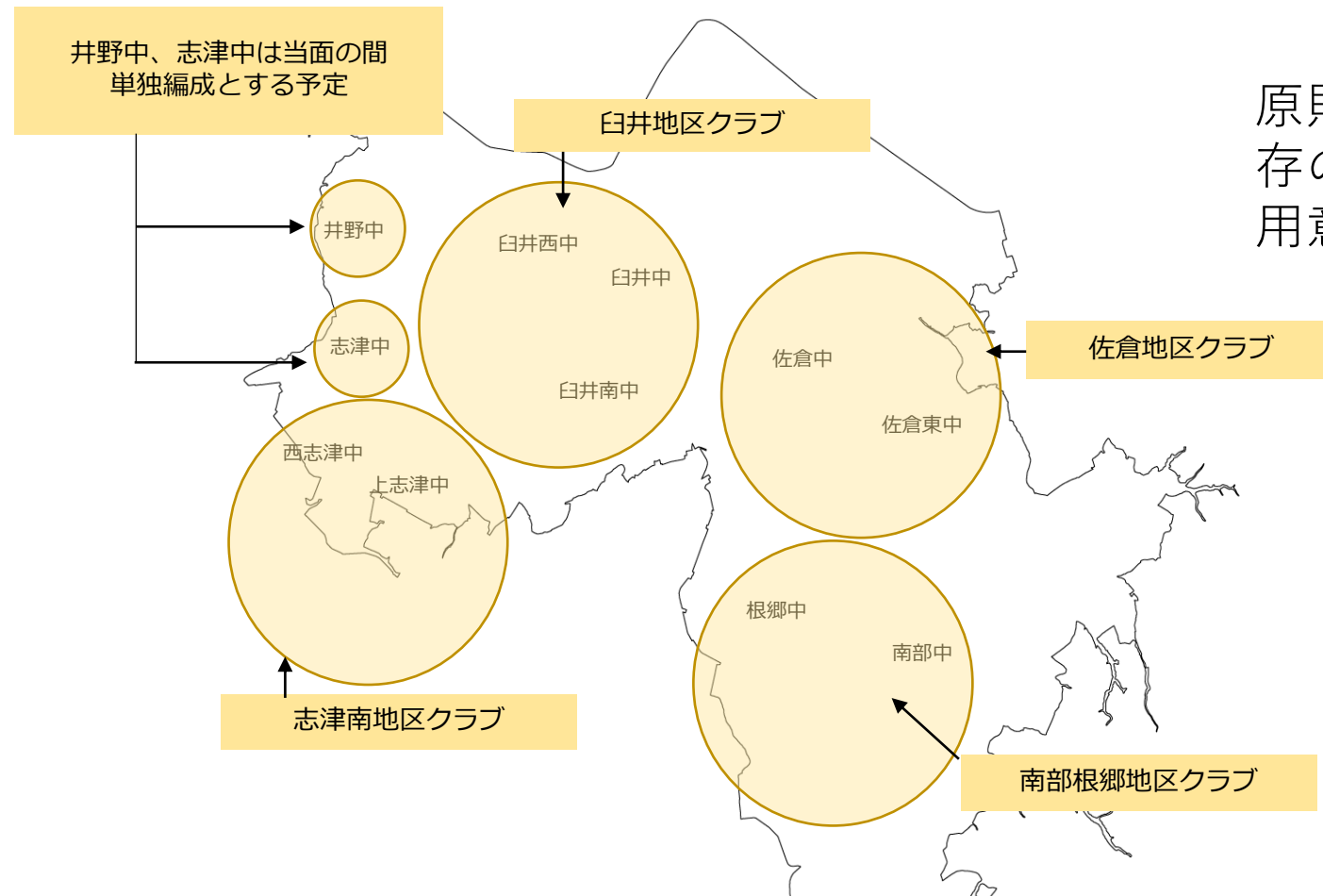


生徒

- ☑ 休日は学校単位ではなく、地区単位（次頁参照）でまとまって活動を行います！
- ☑ 既存の部活動に加え、新たな種目の設立も検討します！
- ☑ 参加する生徒は、自分のやりたい種目を選んで参加することができます！

3 佐倉市の今後の方向性

「（仮称）休日地域クラブ SAKURA」の活動エリア図



原則として、各地区に既存の部活動と同じ種目を用意する予定。

3 佐倉市の今後の方向性

何が変わるの？ - その2 -

教えてくれる“指導者”が変わります。これまでのこんな悩みの解消が期待されます。



生徒の要望には応えたいけど、やったことのない競技だし、限界があるよ、、

もっと上達したいから、専門的な人に教えてもらいたい！



このようなミスマッチを解消するために

- ☑ より専門的な指導が受けられるので、技術の向上が期待できます！
- ☑ やる気と専門性を持った方を指導者として配置します！

➡ 地域の方や教員の中から、『教えたい』という意欲のある方を採用していきます

3 佐倉市の今後の方向性

何が変わるの？－その3－

指導者に適正な報酬を支払うため、参加者は参加費を負担します

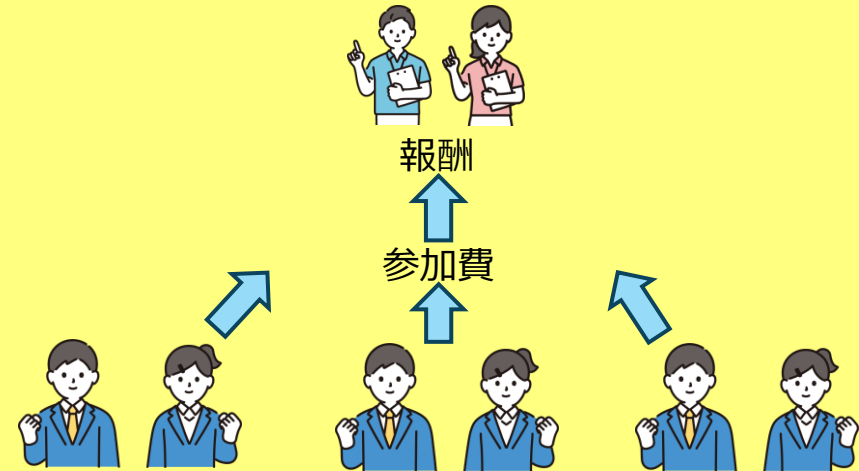
これまで

4 時間未満・・・1,800円／1 日
4 時間以上・・・3,600円／1 日
時給換算すると600円～900円程度
教員のやる気搾取と揶揄されてきた、これまでのモデルでは限界がきています。



これから

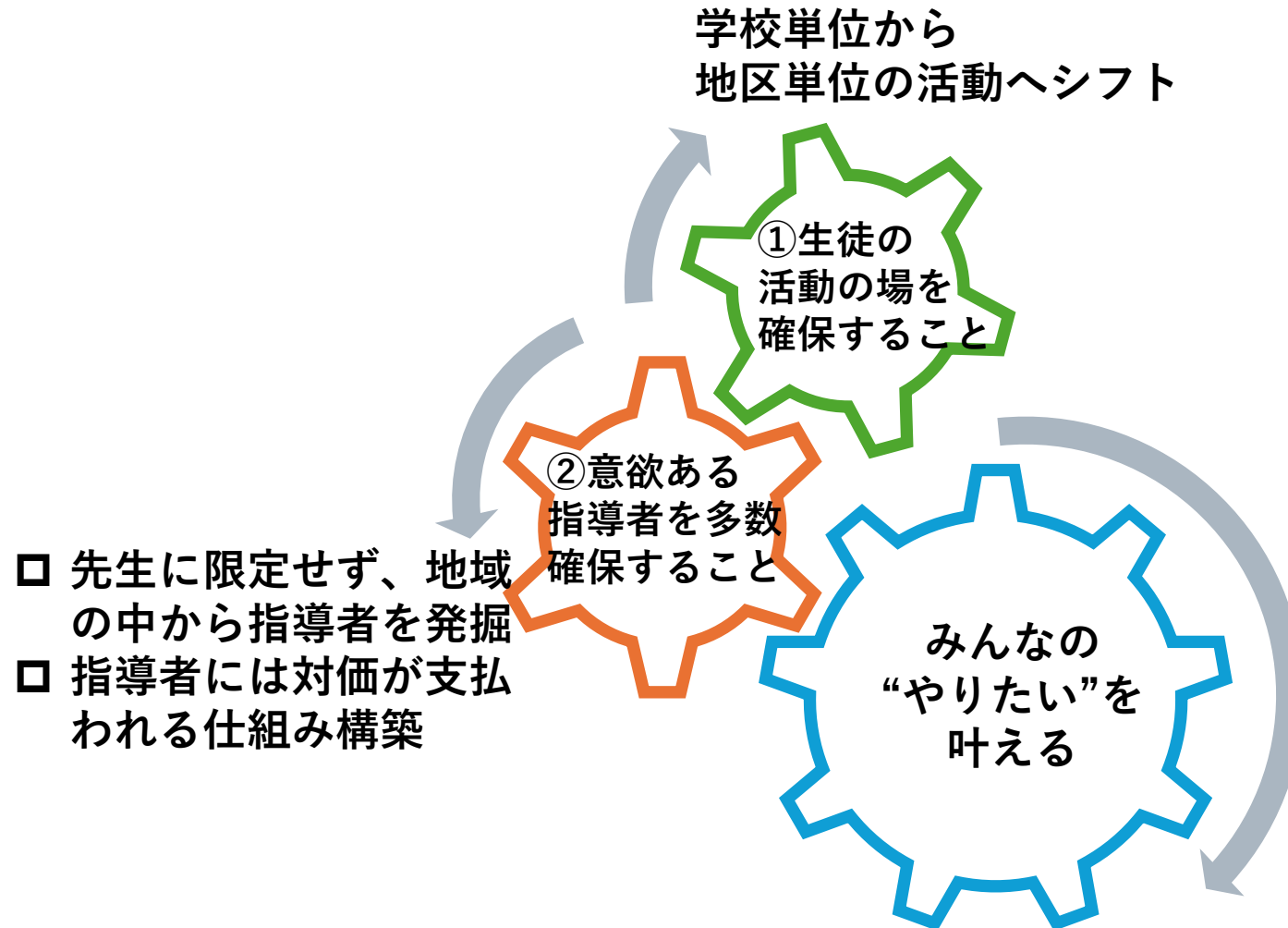
先生方の「子供達のために」という献身的な想いで支えてきたこれまでの仕組みではなく、指導者に適正な報酬が支払われる仕組みを構築し、持続可能な取組にしていく必要があります。



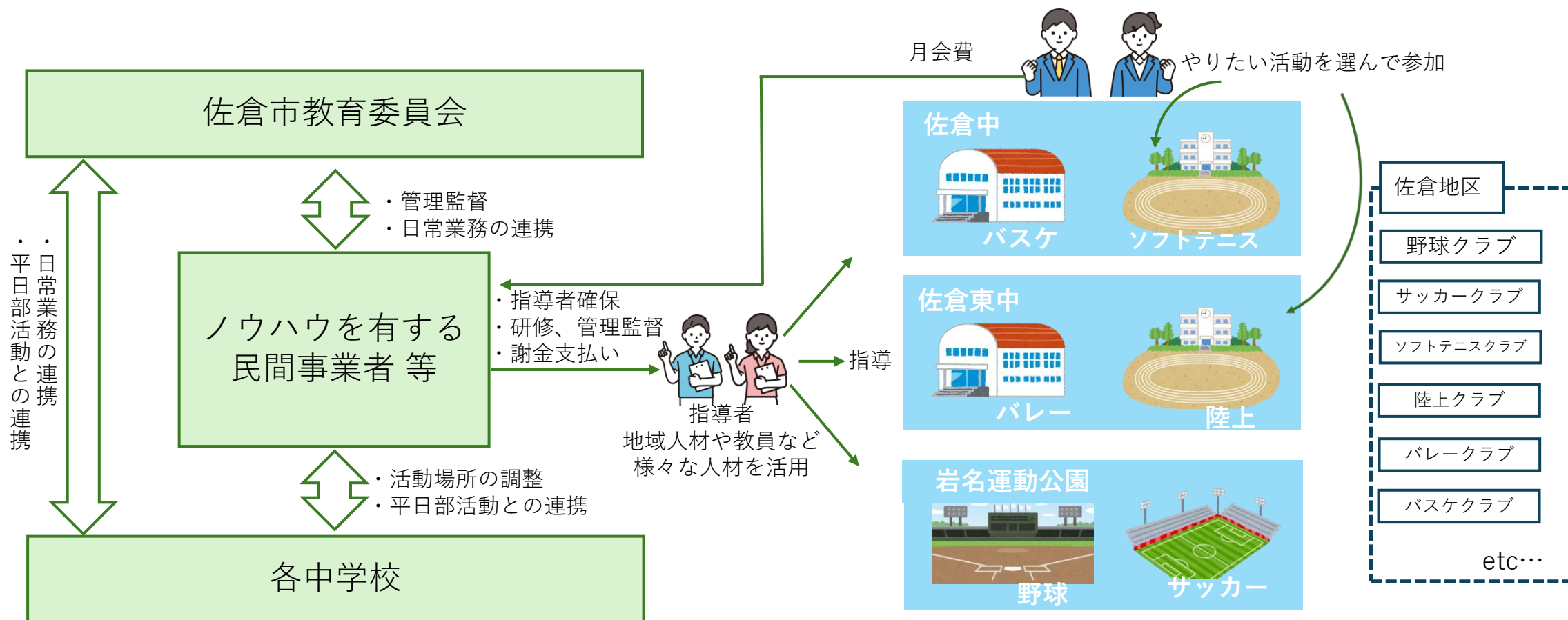
※参加費の金額については、現在検討中

※就学援助世帯の参加費については、市費で負担することを検討中

3 佐倉市の今後の方向性



3 佐倉市の今後の方向性



少子化が進展する中でも、佐倉市のこども達が将来にわたり、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保していきます。